

群馬大学理工学部が公道で自動運転実証実験を開始します

10月15日（土）から平成33年3月31日（水）まで

群馬大学理工学部では、大学周辺の公道で、自動車の自動運転に関する実証実験を行います。お近くを走行の際には、安全運転の御協力をお願いいたします。

目的

現在、自動車の自動運転技術は、自動車メーカーをはじめとした企業や大学などで活発に研究されています。

群馬大学でも自動運転技術の研究を行っており、公道での実証実験を行い、更に高度な技術の蓄積を目的としています。

実証実験の取り組み

また、県内外の企業や研究機関との連携を広げ、桐生市における自動運転自動車に関する産業の育成を図り、産業の競争力強化を目指すとともに、自動運転自動車の走行技術と新しい移動サービスを検証します。

桐生市と群馬大学の産学連携

市では、群馬大学を核とした産学官連携を積極的に推進し、産業振興と活力あるまちづくりを進めています。自動車の自動運転技術の研究についても、公道実証実験を円滑に実施できるよう体制を整備します。また、今後、群馬大学が実施する調査にも協力する予定です。



実験車両

実験車両

現在の実験車両は、トヨタプリウスをベースに改造してあります。エンジン始動・停止、シフトの切替、操舵、制動、駆動、その他周辺機器をコンピュータを介して操作することが出来ます。実証実験では、車体の内部や上部に実験内容に応じた様々な装置を法律の範囲内で取り付けて自動運転を行います。

実験期間

10月15日（土）から平成33年3月31日（水）までの間で不定期に実施します。

実験場所

天神町一・二丁目、東久方町一丁目一丁目に面する道路で行います。なお、実証実験の進捗状況によって、再度告知を

行った上で走行路線を変更する場合があります。

安全性について

本実証実験は、警察庁が定めた「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に従って実施します。そのため、自動運転中の運転席には、車両の免許を持ち、自動運転システムを十分に理解した運転手が、ハンドルに手を添えながら搭乗します。また、車両は運転手の運転操作が最優先となるように設計されているので、一般的な車両と同様な安全性が確保されています。

お問い合わせは、群馬大学

研究推進部産学連携推進課理工学系産学連携係（☎301101）へ。

桐生市消費生活センターを知っていますか

消費生活センターは、消費生活に関する相談や苦情の受け付け、暮らしに関する様々な情報の提供を行っています。

商品・サービスに関する苦情、悪質商法の被害、インターネットや携帯電話でのトラブル、契約・購入前の相談など個人のプライバシーを守りながら、相談員が問題の処理や解決の手助けをします。

<だまされないための3つのポイント>

- 一、うまい話を信用しない！
- 一、すぐに決めない！
- 一、きっぱり・はっきり断る！

「困ったな・・・」と思ったときは、ひとりで悩まずに気軽に消費生活センター（保健福祉会館4階、☎40-1112）へ御相談ください。相談時間は23ページの各種相談案内に掲載してあります。

認知症の人を見守り、支えあう

地域で見守る

桐生ふれあいメールに登録を

市では、徘徊などによる行方不明の高齢者情報を配信しています。

一人でも多くの人が気づき、早期に発見できることが安心して認知症の人が暮らすことのできるまちにつながりますので、是非、御登録ください。

登録方法

下の二次元バーコードを読み込み、桐生ふれあいメール <https://service.sugumail.com/kytu/> にアクセスし、画面の表示にしたがって、登録してください。



行方不明の高齢者情報を登録するには、防災・防犯情報から高齢者緊急情報を選択してください。そのほか配信を希望する情報があれば選択し、確認画面に進めて操作を完了させます。「本登録完了のお知らせ」のメールが届けば登録完了です。※登録は無料ですが、パケット通信料は利用者負担です。

問い合わせは、情報政策課情報発信係（☎内線507）へ。

桐生市認知症等高齢者見守り SOS ネットワーク事業

事前に登録されている高齢者が、徘徊などによって行方不明になったときに、家族などが桐生警察署に行方不明者届を提出すると、市が、その連絡を受け、行方不明者の情報を「桐生ふれあいメール」で配信します。また、介護サービス事業者や郵便局などの116の登録協力団体へも情報を発信し、早期発見に結びつける事業です。

配信される情報

桐生ふれあいメールには、行方不明者の性別、年代、服装や特徴と、見かけたときの連絡先が発信され、登録協力団体への情報では、発見の参考になる情報も合わせて発信されます。

事前登録を

登録は、行方不明の可能性がある高齢者の情報を所定の登録票に記載し、市役所1階の長寿支援課、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活

課又は、各地域包括支援センターに提出してください。登録票は、提出場所のほか、市ホームページにも有ります。問い合わせは、長寿支援課長寿支援係（☎内線588）へ。

地域で支える

認知症カフェの設置を支援します

認知症カフェは、認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、認知症の人や家族、専門職の人など誰もが気軽に集い交流できる場所です。

市では、認知症になっても暮らしやすい街づくりを推進するため、認知症カフェを運営する団体への登録証の交付や、市のホームページなどで市民へ周知する登録事業と、認知症カフェ開設に必要な物品購入経費を支援する助成事業（開設1か所につき限度額3万円）を始めます。問い合わせは、長寿支援課長寿支援係（☎内線588）へ。

災害救助訓練



桐生市地域防災計画に基づく災害救助訓練を、11月1日（火）午後2時から市民文化

会館で行います。

地震発生による出火で多数の負傷者が救助を求めているとの想定で、消防、医療、警察、市の関係者などが参加し、消火訓練や避難誘導訓練、救助訓練などを行います。

なお、訓練実施中は、市民文化会館正面や、桐生地域地場産業振興センターの駐車場が使用できなくなります。

問い合わせは、健康づくり課地域医療係（☎471152）へ。

秋の市民一斉清掃

10月30日（日）に秋の市民一斉清掃を行います。清掃活動は各自治会・町会で決められた時間に開始してください。集まったごみは、午前8時30分から順次収集しますので、ごみステーションへ出してください。

雨天でも収集しますが、清掃活動は、各自治会・町会で判断してください。なお、当日以外に清掃活動を行った場合は、ごみステーション以外の場所に集めて清掃センター

清掃係に連絡してください。

燃えるごみ、缶、びんなどは普段と同じように分別し、指定袋、透明か白い半透明の袋に入れて出してください。

使用済みの乾電池、ライターの収集も行いますので、それぞれの袋に入れて出してください。なお、カッター！カミソリの刃は危険ですので混入せず、燃えないごみの収集日に出してください。

問い合わせは、清掃センター清掃係（☎741014）へ。